

# 参考資料

	ページ	
実績編		
・ 連結	主要決算数値（13年度 対 12年度）	1
・ 個別	主要決算数値（13年度 対 12年度）	2
	営業主要計数 内訳（13年度 対 12年度）	3
・ 連結	営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	4
見通し編		
・ 個別	経済フレーム及び年度収支影響感度	5
・ 連結	主要決算数値（今回見通し 対 前回見通し）	6
・ 個別	主要決算数値（今回見通し 対 前回見通し）	7
	営業主要計数内訳（今回見通し 対 前回見通し）	8
	主要決算数値（今回見通し 対 12年度）	9
	営業主要計数内訳（今回見通し 対 12年度）	10
・ 連結	営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	11

# 実績編

## 連結 主要決算数値(13年度 対 12年度)

億円

	FY13 3Q	FY12 3Q	増減		備考
売上高	14,353	13,354	999	7.5%	都市ガス+460(単価増)、その他エネルギー+118(LNG販売+182)
営業利益	878	990	▲112	▲11.3%	都市ガス▲110、その他事業▲19、器具及びガス工事+22
経常利益	831	1,017	▲186	▲18.3%	為替影響▲57(▲45←12)、専用設備料収入▲22(5←27)
当期純利益	551	640	▲89	▲13.8%	関係会社株式売却益▲29(0←29)、減損損失▲15(▲21←▲6)、投資有価証券評価損+33(0←▲33)、固定資産売却益+6(6←0)他

総資産 ※	20,608	19,924	684	3.4%	有形・無形固定資産+806(設備投資+1,746、償却▲1,027)、投資その他の資産+224、流動資産▲345(譲渡性預金▲640、売掛金131)
自己資本 ※	9,451	9,276	175	1.9%	当期純利益551、為替換算調整勘定+142、株式評価差額金+99(評価益<441←300>)、自己株式市場買付▲359、配当金支払▲267
自己資本比率 ※ (%)	45.9%	46.6%	-0.7	—	総資産の増加率(+3.4%)に対し、自己資本の増加率(+1.9%)が小さかったため減少
総資本回転率 (回転)	0.71	0.71	0.00	—	
有利子負債残高 ※	7,589	6,425	1,164	18.1%	東京ガス+1,072
当期純利益	551	640	▲89	▲13.8%	
減価償却(*2・3)	1,027	1,020	7	0.6%	TGルート+8(個別ベース)
営業キャッシュ・フロー(*1)	1,578	1,661	▲83	▲4.9%	
設備投資(*2)	1,746	1,179	567	48.1%	
1株当たり当期純利益 (円/株)	21.91	24.89	▲2.98	▲12.0%	当期純利益減(▲89)により減少
1株当たり純資産 ※ (円/株)	376.38	360.70	15.68	4.3%	

FY12 3Q数値は、P/L系の項目は前年同四半期数値を表示、B/S系の項目は前期末(2013年3月末)数値を表示(※印付き項目)

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

# 個別 主要決算数値(13年度 対 12年度)

## 第3四半期実績

億円

	今期	前期	増減	
総売上高	13,011	11,874	1,137	9.6%
営業利益	657	675	-18	-2.6%
経常利益	678	799	-121	-15.1%
当期純利益	462	524	-62	-11.7%

### 料金スライドの収支への影響

	今期	前期	増減
料金によるスライド回収	1,176	311	865
原料費の増加分	1,003	179	824
差し引き	173	132	41

金額は基準価格に対する増減額

### 経済フレーム

	今期	前期	増減
原油価格	109.44	113.98	-4.54
為替レート	99.36	79.95	19.41

億円

	今期	前期	増減		
製品売上高(ガス売上高)	9,896	9,090	806	8.9%	
営業費用	原材料費	6,344	5,483	861	15.7%
	(粗利)	(3,552)	(3,607)	(-55)	(-1.5%)
	諸給与	699	725	-26	-3.6%
	諸経費	1,732	1,702	30	1.7%
	減価償却費	746	753	-7	-1.0%
	LNG受託加工費	-35	-36	1	-
計	9,487	8,629	858	9.9%	
受注工事収支	0	-4	4	-	
器具販売等収支	94	88	6	7.2%	
営業雑収支	95	83	12	14.7%	
附帯事業収支	154	132	22	16.7%	
営業利益	657	675	-18	-2.6%	
営業外収支	20	123	-103	-83.5%	
経常利益	678	799	-121	-15.1%	
特別利益	0	9	-9	-	
特別損失	21	39	-18	-	
法人税等	194	244	-50	-	
当期純利益	462	524	-62	-11.7%	

数量・料金構成差▲72億円、単価差+878億円
数量・原料構成差+40億円、単価差+821億円(為替影響+1,083、油価影響+263)
数量・構成差▲112億円、単価差+57億円
数理計算上の差異費用▲17億円、人員減 他
詳細は下記参照
償却の進行に伴う減▲7億円
新設件数増 他
器具収支 温水システム+6億円 他
電力販売+19億円、LNG販売+4億円 他
関係会社受取配当▲64億円(今期51、前期115)、専用設備料収入▲21億円 他
前期: 投資有価証券等売却益9億円
今期: 固定資産減損損失21億円、前期: 投資有価証券評価損33億円、固定資産減損損失6億円

億円

### 諸経費

	今期	前期	増減	
修繕費	261	252	9	3.5%
消耗品費	105	107	-2	-2.0%
賃借料	136	134	2	1.5%
委託作業費	472	474	-2	-0.3%
租税課金	332	319	13	4.2%
需要開発費	157	163	-6	-3.6%
その他	269	253	16	5.8%

製造設備修繕費+5億円、ガス栓対策引当差額+3億円 他
売上高増に伴う事業税+11億円 他
[前年度]大口営業展示会開催 他
光熱費+7億円、本支管除却費+4億円 他

**個別 営業主要計数(13年度 対 12年度)**  
**第3四半期実績**

お客さま件数

千件

	今期	前期	増減	
お客さま件数	10,756	10,634	122	1.1%
新設件数	150	143	7	4.7%

個別ガス販売実績

百万m3

		今期	前期	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		216.6	232.3	-15.7	-6.8%	気温影響▲12.7m3(▲5.6%)、日数差異▲0.7m3(▲0.3%)、その他▲2.3m3(▲0.9%)
家庭用		1,961	2,077	-116	-5.6%	気温影響▲117百万m3(▲5.6%)、日数差異▲6百万m3(▲0.3%)、件数差+26百万m3(+1.2%)、その他増減▲19百万m3(▲0.9%)
業務用	商業用	1,252	1,274	-22	-1.7%	
	その他用	630	638	-8	-1.3%	
	業務用計	1,882	1,912	-30	-1.6%	気温影響▲13百万m3(▲0.7%)、その他増減▲17百万m3(▲0.9%)
工業用	発電専用	2,246	2,114	132	6.3%	需要の増加等
	発電専用以外	2,282	2,266	16	0.7%	
	工業用計	4,528	4,380	148	3.4%	
計		6,409	6,292	117	1.9%	
卸供給		1,615	1,599	16	1.0%	気温影響▲10百万m3(▲0.6%)、卸先需要家の既存物件稼働増+26百万m3(+1.6%)
合計		9,986	9,968	18	0.2%	気温影響▲140百万m3(▲1.4%)、発電専用+132百万m3(+1.3%)、工業用(発電専用以外)+16百万m3(+0.2%)、卸供給(気温影響除き)+26百万m3(+0.3%)、その他▲16百万m3(▲0.2%)
(内大口供給)		5,397	5,259	138	2.6%	

## 連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳

### 営業キャッシュフロー

実績（今期3Q 対 前期3Q）

億円

<連結>		当期	前年同期	増減	
当期純利益		551	640	-89	-13.8%
減価償却		1,027	1,020	7	0.6%
営業CF(当期純利益+減価償却)		1,578	1,661	-83	-4.9%

<個別>		当期	前年同期	増減	
当期純利益		462	524	-62	-11.7%
減価償却		773	782	-9	-1.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)		1,235	1,306	-71	-5.4%

### 設備投資内訳

実績（今期3Q 対 前期3Q）

億円

		実績	前年同期	増減	
東京ガス	製造設備	191	131	60	45.1%
	供給設備	586	558	28	4.9%
	業務設備他	90	77	13	16.7%
	計	868	768	100	13.0%
連結子会社設備投資*		877	410	467	113.7%
合計		1,746	1,179	567	48.1%

製造設備 : 日立LNG基地関連他+60億円

供給設備 : 安定供給関連+18億円、保安関連他+10億円

業務設備他 : その他業務設備他+13億円

連結子会社設備投資 : 海外投資(バーネット)他

\*連結相殺含む

# 見通し編

## 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

### 経済フレーム

	今回1/31見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	107.68	111.38	109.58	\$/bbl
為替レート	98.86	102.73	100.77	円/\$
	前回10/30見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	107.66	110.00	108.83	\$/bbl
為替レート	98.86	100.00	99.43	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	0.02※	1.38	0.75	\$/bbl
為替レート	0.00	2.73	1.34	円/\$

※9月原油価格について、前回の速報値を今回確報値に更新したため

### 原油価格・為替レート変動の年度収支影響感度 億円

1\$/bbl	4Q	年度
売上高	0	0
原料	▲ 1	▲ 1
粗利	1	1

※油価が1\$下がった場合の収支影響

1円/\$	4Q	年度
売上高	▲ 5	▲ 5
原料	▲ 22	▲ 22
粗利	17	17

※為替が1円円高になった場合の収支影響額



## 連結 主要決算数値(今回見通し 対 10/30見通し)

億円

	今回 (1/31)	前回 (10/30)	増減		備考
売上高	20,860	20,800	60	0.3%	
営業利益	1,500	1,590	▲ 90	▲5.7%	都市ガス▲66(単価差)、海外▲34(費用増)
経常利益	1,430	1,530	▲ 100	▲6.5%	同 上
当期純利益	970	1,030	▲ 60	▲5.8%	主として、経常利益の増減によるもの

総資産	21,230	20,840	390	1.9%	
自己資本	9,970	9,740	230	2.4%	
自己資本比率 (%)	47.0	46.7	0.3	-	
総資本回転率 (回転)	1.01	1.02	▲ 0.01	-	
ROA(*2) (%)	4.7	5.1	▲ 0.4	-	
ROE(*2) (%)	10.1	10.8	▲ 0.7	-	
有利子負債残高	7,240	7,120	120	1.7%	
D/Eレシオ	0.73	0.73	-	-	
	当期純利益	970	1,030	▲ 60	▲5.8%
	減価償却(*3・4)	1,390	1,390	0	-
営業キャッシュ・フロー(*1)	2,360	2,420	▲ 60	▲2.5%	
設備投資(*3)	2,480	2,540	▲ 60	▲2.4%	
TEP	502	577	▲ 75	▲13.0%	
(WACC)	3.2%	3.2%	-	-	
1株当たり当期純利益 (円/株)	38.55	40.93	▲ 2.38	▲5.8%	
1株当たり純資産 (円/株)	397.01	387.84	9.17	2.4%	
総分配性向(*5)	(*6) -	-	-	-	

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(\*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(\*5)n年度総分配性向 = ((n年度の年間配当金総額)+(n+1年度の自社株取得額))÷(n年度連結当期純利益)

(\*6)2020年度に至るまで各年度6割程度とします

# 個別 主要決算数値(今回見通し 対 10/30見通し)

## 通期見通し

	億円			
	今回	前回10/30	増減	
総売上高	18,880	18,710	170	0.9%
営業利益	1,150	1,220	-70	-5.7%
経常利益	1,150	1,220	-70	-5.7%
当期純利益	790	840	-50	-6.0%

### 料金スライドの収支への影響

	今回	前回10/30	増減
料金によるスライド回収	1,784	1,703	81
原料費の増加分	1,669	1,479	190
差し引き	115	224	-109

金額は基準価格に対する増減額

### 経済フレーム

	今回	前回10/30	増減
原油価格	109.58	108.83	0.75
為替レート	100.77	99.43	1.34

億円

	今回	前回10/30	増減		
製品売上高(ガス売上高)	14,550	14,380	170	1.2%	数量・料金構成差+92億円、単価差+78億円
営業					
費用					
原材料費	9,366	9,106	260	2.9%	数量・原料構成差+70億円、単価差+190億円(為替影響+121、油価影響+48)
(粗利)	(5,184)	(5,274)	(-90)	(-1.7%)	数量・構成差+22億円、単価差▲112億円
諸給与	933	940	-7	-0.7%	設備科目等への振替増 他
諸経費	2,447	2,462	-15	-0.6%	詳細は下記参照
減価償却費	1,018	1,023	-5	-0.5%	設備取得時期遅れに伴う償却費減他▲5億円
LNG受託加工費	-48	-47	-1	-	
計	13,716	13,484	232	1.7%	
受注工事収支	9	6	3	50.0%	
器具販売等収支	104	98	6	6.1%	器具収支 一般機器販売台数増 他
営業雑収支	113	104	9	8.7%	
附帯事業収支	203	220	-17	-7.7%	電力販売▲3億円、LNG販売▲15億円 他
営業利益	1,150	1,220	-70	-5.7%	
営業外収支	0	0	0	-	
経常利益	1,150	1,220	-70	-5.7%	
特別利益	0	0	0	-	
特別損失	20	20	0	-	固定資産減損損失等20億円
法人税等	340	360	-20	-5.6%	
当期純利益	790	840	-50	-6.0%	

### 諸経費

億円

	今回	前回10/30	増減		
修繕費	366	363	3	0.8%	
消耗品費	145	148	-3	-2.0%	
賃借料	181	182	-1	-0.5%	
委託作業費	646	649	-3	-0.5%	
租税課金	460	460	0	0.0%	
需要開発費	250	257	-7	-2.7%	家庭用営業費▲3億円、大口営業費▲3億円
その他	399	403	-4	-1.0%	

**個別 営業主要計数内訳(今回見通し 対 10/30見通し)**  
**通期見通し**

お客さま件数

千件

	今回	前回10/30	増減	
お客さま件数	10,810	10,809	1	0.0%
新設件数	226	225	1	0.2%

ガス販売量内訳

百万m3

		今回	前回10/30	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		366.8	366.3	0.5	0.3%	気温影響+0.6m3(+0.2%)、日数差異+0.3m3(+0.1%)、その他▲0.4m3(▲0.1%)
家庭用		3,334	3,321	13	0.4%	気温影響+6百万m3(+0.2%)、日数差異+3百万m3(+0.1%)、件数差異+7百万m3(+0.2%)、その他増減▲3百万m3(▲0.1%)
業務用	商業用	1,764	1,753	11	0.6%	
	その他用	895	897	-2	-0.2%	
業務用計		2,660	2,651	9	0.3%	気温影響+5百万m3(+0.2%)、日数差異▲1百万m3(▲0.1%)、その他増減+5百万m3(+0.2%)
工業用	発電専用	3,050	3,028	22	0.7%	
	発電専用以外	3,119	3,046	73	2.4%	
工業用計		6,170	6,074	95	1.6%	既存物件稼働増
計		8,829	8,725	104	1.2%	
卸供給		2,241	2,234	8	0.3%	気温影響+1百万m3(+0.0%)、卸先需要家の既存物件稼働増+7百万m3(+0.3%)
合計		14,404	14,279	125	0.9%	気温影響+12百万m3(+0.1%)、発電専用+22百万m3(+0.2%)、工業用(発電専用以外)+73百万m3(+0.5%)、卸供給(気温影響除き)+7百万m3(+0.0%)、その他+11百万m3(+0.1%)
(内大口供給)		7,372	7,275	96	1.3%	

# 個別 主要決算数値(今回見通し 対 12年度) 通期見通し

	億円			
	今回	前期	増減	
総売上高	18,880	17,142	1,738	10.1%
営業利益	1,150	1,048	102	9.7%
経常利益	1,150	1,145	5	0.4%
当期純利益	790	785	5	0.6%

## 料金スライドの収支への影響

	今回	前期	増減
料金によるスライド回収	1,784	415	1,369
原料費の増加分	1,669	536	1,133
差し引き	115	-121	236

金額は基準価格に対する増減額

## 経済フレーム

	今回	前期	増減
原油価格	109.58	113.88	-4.30
為替レート	100.77	82.91	17.86

					億円					
					今回	前期	増減			
製品売上高(ガス売上高)					14,550	13,184	1,366	10.4%	数量・料金構成差+40億円、単価差+1,326億円	
営業費用	原材料費	9,366	8,068	1,298	16.1%	数量・原料構成差+141億円、単価差+1,157億円(為替影響+1,491、油価影響▲292)				
	(粗利)	(5,184)	(5,116)	(68)	(1.3%)	数量・構成差▲101億円、単価差+169億円				
	諸給与	933	974	-41	-4.2%	数値計算上の差異費用▲22億円、人員減 他				
	諸経費	2,447	2,395	52	2.2%	詳細は下記参照				
	減価償却費	1,018	1,020	-2	-0.2%					
	LNG受託加工費	-48	-48	0	-					
	計	13,716	12,410	1,306	10.5%					
	受注工事収支	9	3	6	200%	新設件数増 他				
	器具販売等収支	104	103	1	1.0%	器具収支 温水システム+5億円、GHP▲3億円 他				
営業雑収支					113	107	6	5.6%		
附帯事業収支					203	167	36	21.6%	電力販売+19億円、LNG販売+14億円 他	
営業利益					1,150	1,048	102	9.7%		
営業外収支					0	97	-97	-100.0%	関係会社受取配当金▲64億円(当期51、前期115)、専用設備料収入▲20億円 他	
経常利益					1,150	1,145	5	0.4%		
特別利益					0	10	-10	-	前期:投資有価証券売却益10億円	
特別損失					20	13	7	-	今期:固定資産減損損失等20億円、前期:固定資産減損損失13億円	
法人税等					340	356	-16	-4.5%		
当期純利益					790	785	5	0.6%		

					億円					
					今回	前期	増減			
諸経費					366	363	3	0.8%		
修繕費					145	149	-4	-2.7%		
消耗品費					181	178	3	1.7%		
賃借料					646	642	4	0.6%		
委託作業費					460	440	20	4.5%	売上高増に伴う事業税増+16億円 他	
租税課金					250	247	3	1.2%		
需要開発費					399	376	23	6.1%	光熱費+8億円、本支管除却費+7億円 他	
その他										

## 個別 営業主要計数内訳(今回見通し 対 12年度)

### 通期見通し

#### お客さま件数

千件

	今回	前期	増減	
お客さま件数	10,810	10,678	132	1.2%
新設件数	226	208	18	8.2%

#### ガス販売量内訳

百万m3

	今回	前期	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	366.9	382.7	-15.8	-4.1%	気温影響▲11.7m3(▲3.0%)、日数差異▲0.9m3(▲0.2%)、その他増減▲3.2m3(▲0.8%)	
家庭用	3,334	3,427	-92	-2.7%	気温影響▲103百万m3(▲3.0%)、日数差異▲6百万m3(▲0.2%)、件数差異+44百万m3(+1.3%)、その他増減▲27百万m3(▲0.8%)	
業務用	商業用	1,764	1,769	-4	-0.2%	
	その他用	895	921	-26	-2.8%	
・	業務用計	2,660	2,689	-30	-1.1%	気温影響▲5百万m3(▲0.2%)、その他増減▲25百万m3(▲0.9%)
工業用	発電専用	3,050	2,856	194	6.8%	
	発電専用以外	3,119	3,033	86	2.8%	
	工業用計	6,170	5,889	281	4.8%	既存物件稼働増
	計	8,829	8,578	251	2.9%	
卸供給	2,241	2,196	45	2.1%	気温影響▲7百万m3(▲0.3%)、卸先需要家の既存物件稼働増+52百万m3(+2.4%)	
合計	14,404	14,201	203	1.4%	気温影響▲115百万m3(▲0.8%)、発電専用+194百万m3(+1.4%)、工業用(発電専用以外)+86百万m3(+0.6%)、卸供給(気温影響除き)+52百万m3(+0.3%)、その他▲14百万m3(▲0.1%)	
(内大口供給)	7,372	7,096	276	3.9%		

## 連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳

### 営業キャッシュフロー

(今回見通し 対 前回見通し)

億円

<連結>	今回1/31	前回10/30	増減	
当期純利益	970	1,030	-60	-5.8%
減価償却	1,390	1,390	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,360	2,420	-60	-2.5%

<個別>	今回1/31	前回10/30	増減	
当期純利益	790	840	-50	-6.0%
減価償却	1,056	1,059	-3	-0.3%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,846	1,899	-53	-2.8%

(今回見通し 対 前期通期)

億円

<連結>	今回1/31	前期	増減	
当期純利益	970	1,016	-46	-4.5%
減価償却	1,390	1,387	3	0.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,360	2,404	-44	-1.8%

<個別>	今回1/31	前期	増減	
当期純利益	790	785	5	0.6%
減価償却	1,056	1,059	-3	-0.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,846	1,844	2	0.1%

### 設備投資内訳

(今回見通し 対 前回見通し)

億円

		今回1/31	前回10/30	増減	
東京ガス	製造設備	284	284	0	0.2%
	供給設備	906	933	-27	-2.9%
	業務設備他	184	207	-23	-11.2%
計		1,375	1,425	-50	-3.5%
連結子会社設備投資*		1,105	1,115	-10	-0.9%
合計		2,480	2,540	-60	-2.4%

供給設備 : 保安関連▲9億円、その他供給設備他▲18億円

業務設備他 : その他業務設備他▲23億円

(今回見通し 対 前期通期)

億円

		今回1/31	前期	増減	
東京ガス	製造設備	284	228	56	24.6%
	供給設備	906	875	31	3.5%
	業務設備他	184	166	18	10.8%
計		1,375	1,271	104	8.2%
連結子会社設備投資*		1,105	568	537	94.5%
合計		2,480	1,837	643	35.0%

製造設備 : 日立LNG基地関連他+56億円

供給設備 : 需要開発関連+16億円、保安関連他+15億円

業務設備他 : その他業務設備他+18億円

連結子会社設備投資 : 海外投資(バーネット)他

\*上記2表の「連結子会社設備投資」には連結相殺含む

# 東京ガス株式会社

## <見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ  
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ  
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価  
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東